

授業科目	中級日本語				単位	1		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	TO12002J		
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP1-3 DP2-1 DP2-2			
担当教員	林 裕二							
授業概要	<p>基礎的な日本語を学び終えた学生を対象に、四技能(聞く・話す・読む・書く)を総合的に伸ばすための授業を行う。具体的には、まず、テキストをベースに語彙や文法を学びながら、様々な文章を読む。その上で、自らの意見を話したり書いたりする時間も設ける。授業時以外でも日本語の学習ができるよう、自宅でできる課題も課す。小テスト、レポート提出と口頭発表を毎回行う。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本語の基礎的な文法や語彙を正確に理解し運用できる。 2. 中級レベルの類似した表現について、その違いを理解しよりの確に表現できるようになる。 3. 語彙を増やし、日本語で豊かな表現ができるようになる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	15	20	15	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)	30	15					45	
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	10		10				20	
思考・判断 (DP2-2)	10		10	15			35	
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
中級から中上級レベルの日本語を深く理解し、実際にそれらを用いることができる。				中級レベルの日本語を理解し、実際にそれらを用いることができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	・ガイダンス ・日本語能力の確認			講義		予習・復習		90

2	健康	講義	予習・復習	90
3	少子高齢化	講義	予習・復習	90
4	コミュニケーション	講義	予習・復習	90
5	慣習・風習	講義	予習・復習	90
6	大学生活	講義	予習・復習	90
7	社会保障	講義	予習・復習	90
8	少年・若者	講義、小テスト	予習・復習	90
9	雇用・労働	講義	予習・復習	90
10	ボランティア	講義	予習・復習	90
11	都市と地方	講義	予習・復習	90
12	食糧問題	講義	予習・復習	90
13	日本の社会生活	講義	予習・復習	90
14	環境問題	講義	予習・復習	90
15	まとめ	講義	予習・復習	90
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				

27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	「初級日本語」で学習した日本語を確実に身につけていること			
テキスト	<p>学ぼう！にほんご 中上級 編者 日本語教育教材開発委員会 出版年:2009年 出版社名: 専門教育出版 商品コード: 488324449 ISBNコード: 9784883244492 *必要に応じて授業中にプリントも配布する</p>			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	本学図書館にある日本語関係の図書			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	毎回出される授業外の課題に取り組むことで、日本語の能力がさらにアップします			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	理解するだけでなく活用することを意識して、間違いを恐れないことが大切です			

